



みなみっ子

62号

令和8年9月9日(水)

南城市立大里南小学校

文責 校長 與儀 毅

学校教育目標

自立

協働

創造

GIGA スクール構想における小学校の端末(タブレット・PC)更新は、いわゆる「GIGA スクール構想第2期(NEXT GIGA)」と呼ばれる重要な局面を迎えています。第1期で導入された端末(2020~2021年度導入)の多くが更新時期を迎えており、文部科学省の計画では2024年度から2028年度までの5年間をかけて全国で順次入れ替えが進められます。第2期における主な変更点や課題、入れ替えのポイントを整理しました。本校では2学期から新しいタブレットを使用します!

GIGA スクール第2期(端末更新)のポイント

1 予備費ではなく「基金化」による計画的な更新

第1期はコロナ禍での急激な整備(予備費等)でしたが、第2期では国が約2,643億円の基金(都道府県単位)を設置しました。これにより、自治体が計画的に計画・更新を進められる仕組みになっています。

2 公費補助(定額補助)の条件

国からの補助上限額は端末1台あたり4.5万円(都道府県の予備費基金等を活用)となっています。ただし、補助を受けるためには自治体が以下の要件を満たす必要があります。

○「1人1台端末」の運用継続 ○都道府県単位での共同調達(コスト削減・整備の標準化のため) ○端末の利活用状況の公表
※沖縄県では統一しDynabookを購入することで、コストを削減しています。

3 端末スペック基準(GIGA仕様)の見直し

バッテリー駆動時間:8時間以上(授業中の電池切れ防止)

堅牢性・操作性:落下耐性やキーボードの使いやすさの重視

※南城市はChromeBookからDynabookへ変更しました。(沖縄県内統一)

Dynabookは、国内メーカーとして長年学校教育現場(GIGAスクール第1期含む)にPCを供給しており、Windows端末を中心に教育向け(GIGAスクール仕様)のモデルを積極的に展開しています。

Dynabook 端末の主な特徴・強み

堅牢性(壊れにくさ)と信頼性

小学生が日常的に扱う(落ち落とす、ランドセルに無理に詰めるなど)ことを想定した頑丈な設計が特徴です。

厳しい耐久テスト:76cm落下テストや面加圧テストなど、自社および第三者機関による耐久試験をクリアしています。

防滴・堅牢キーボード:飲み物をこぼした際や、キーキャップが外れにくい設計が施されています。

学習に特化した機能(デジタイザーペンや2in1形状)

画面を360度回転させてタブレットとして使ったり、キーボードを分離してカメラ撮影や野外学習に使えるモデル(dynabook Kシリーズなど)が主力です。また、筆圧感知に対応したペンを本体に収納・充電できるモデルが多く、漢字の練習や図形の描画、理科の観察記録などに適しています。そして、1日中の授業に耐えられる長寿命バッテリー(10時間以上駆動など)と、急速充電機能が強化されています。

NEXT GIGAへの進化:1人1台端末の更新と新たな選択

GIGA第1期の課題と終了

基金化による計画的な整備と高性能で堅牢な端末へのアップグレードが必要。

文脈:基金化による計画的な整備と高性能で堅牢な端末へのアップグレードが必要。

第2期:基金化による計画的な更新

国が設置:約2,643億円の基金

政府による政管資金

自治体による計画的な更新を支援。

補助条件と共同調達

1台あたり4.5万円の公費補助

1人1台の継続 共同調達 利活用状況の公表

都道府県単位での共同調達(コスト削減・整備の標準化)

学びを支える次世代端末基準:バッテリー

授業中の電池切れを防ぐため、長時間駆動と急速充電機能が重視。

8時間以上

学びを支える次世代端末基準:多様な形態

2in1形状とペンの活用(タブレット、ペン学習、カメラ撮影など多様な学習に対応)。

学びを支える次世代端末基準:高い堅牢性

落下テスト

落下テスト

防滴設計

児童の日常利用に耐える頑丈さが必須。